

児童・生徒作品コーナー



白浜小学校児童の紹介



〔さつまいもほり〕

1年1組 実川 良子さん  
いもをもっている手がじょうずにかけるように、がんばりました



〔かいせんとうで遊ぶ人〕

1年2組 伊藤 喬也くん  
かいせんとうにぶらさがっている人のからだをがんばってかきました。



我が家の家庭教育

シリーズ 69

篠本二区 小西 房子

私の家は三世代に、小五の長男、小三の長女と八人家族です。

私は二十歳で結婚しましたので、家事でも子育てのことでもとまどいが多い毎日でした。そんな時良く面倒を見てくれたのが、夫の祖父母、両親でした。今、子供達の成長を見るにつけ、家族に感謝の気持ちでいっぱいです。子供達も五年生、三年生ともなると反抗期というか、「うるさいなあ。」という言葉の返って

くることも度々です。そんな時の私は本気で子供と争ってしまい、後で反省することが度々でした。

かあさん、ごめんね。」と素直に謝まってくれたことも度々ありました。私の家では、「お年寄りを大切にすること」を心掛けています。いろいろなことを話し合ったり、珍らしいものは一番先にとしよさんあげるように家

家庭教育は 家族の和で

方”を心掛けています。子供も懸ける時に懸けなくてはと思っ

に行った時などは、まっ先にとしよさんへのお土産をさがします。子供達にもそのよ

仕事が優先しがちです。幸にも、私の家は家族が多いので、親のいたらないところを補っていただけです。親に叱られてふくれていた子供達も、家族に諭されて、「お

男はとしよおじいさんが大好きです。子供は親の言うようにはならない。するようになる”と



▲3世代の小西さん一家

言われます。子供の家庭教育の基本は、親の毎日の生活の中に良いお手本になるような生活態度をと思いながら、努力

だけはしていくつもりです。十余年の歳月をふり返ってみると、反省することばかり多いのですが、家族に助けら

れながら今日まできました。今年はずばらしい体験をしました。それは、あけぼの橋の渡り初め式に一家三夫婦そろって参加させていただいたことです。

これからも、家内中が健康で、心のふれ合いを大切にしながら、子供の成長を見守りたいと思います。

